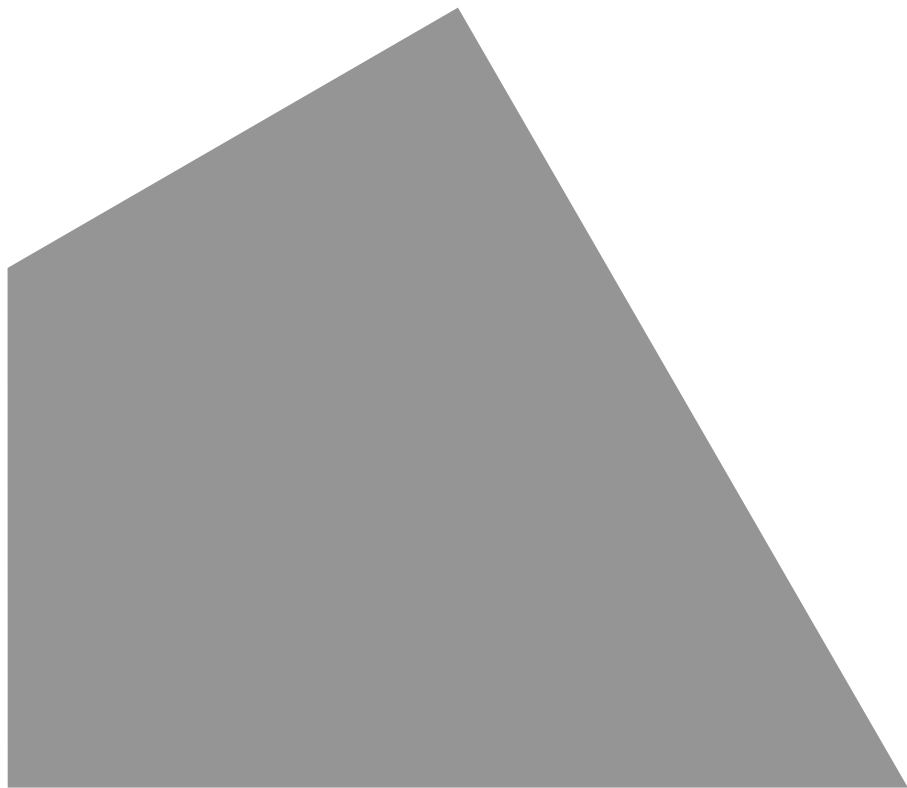


産業
さんぎよう



つくり つづ

作り続けられるのはなぜだろう？

いわ ひ どうぐ つか きょうと こうげいひん
お祝いの日の道具や、ふだん使うものなど、京都の工芸品はくらしにと
けこんでいます。そのひみつは、ちいき しぜん ざいりょう しょくにん ぎじゅつ
地域の自然の材料と、職人さんの技術
むかし いま さくひん み
です。昔と今の作品を見くらべてみましょう。

- 1 よろいのや
鎧廼舎
かぶしきがいしゃ さとうきよまつしょうてん
株式会社佐藤喜代松商店
ゆうげんがいしゃ つるばみ
有限会社椽
きょうとしさんぎょうぎじゅつけんきゅうしょ
京都市産業技術研究所
こうどうがいしゃ こくう
合同会社COCO
わたなべゆう
渡辺祐

- 1 まいせる じゃばん
MYCL JAPAN
かわとくしょうじかぶしきがいしゃ
川徳商事株式会社
- 2 ふくちやましたんばうるし
福知山市丹波漆プロジェクト
- 3 あやべしくろたにわしきょうどうくみあい
綾部市黒谷和紙協同組合
あやべしかんこうきょうかい
綾部市観光協会

1-1

へいあんじだい う 平安時代から受けつがれるよろい

たたか うつく きそ
よろいは戦いのためだけでなく、美しさを競う

つく ぎじゅつ いま う
ためにも作られました。その技術を今に受け

みょうちんあこ ひと つく
ついで、明珍阿古という人が作っています。ち

こ せいちょう いわ
ごよろいには、子どもたちの成長をお祝いし、

あか みらい いの こ
明るい未来を祈るきもちが込められています。

よろいのや
鎧廼舎

京都市上京区黒門通一条上る弾正町



1-2

うるし いと つか にしじんおり めのじ

漆の糸を使った西陣織の布地

うるし いと わし うるし め
漆の糸は、うすい和紙にとてもうすく漆を塗

さいだん きょうと でんとうぎじゅつ
り、裁断してつくられる京都の伝統技術です。

きんぱく ぎんぱく つか きんぎんし こうきゅう
とくに、金箔、銀箔を使った金銀糸は、高級な

おりもの しょう
織物やししゅうに使用されています。



かぶしきがいしゃ さとうきよまつしょうてん

株式会社佐藤喜代松商店

ゆうげんがいしゃ つるばみ

有限会社椽

京都市北区平野宮西町105



1-3

かみ

紙うるしカップ コムラ

かみ

紙とうるしだけでできたカップです。紙にうる

や

しをぬって、焼いてかためています。とっても

せんざい

じょうぶなので、洗剤でゴシゴシあらって、何

なん

ねん

年もつかえます。



かぶしきがいしゃ さとうきよまつしょうてん

株式会社佐藤喜代松商店

きょうとしさんぎょうぎじゅつけんきゅうしょ

京都市産業技術研究所

ごうどうがいしゃ こくう

合同会社COCOO

京都市北区平野宮西町105番地 佐藤喜代松商店内



1-4

つち いわ き み かびん 土や岩、木のように見える花瓶

うるし きんしたい ぼたい きんし
漆と菌糸体(きのこの母体である菌糸のスポンジ)をつか つく かびん きんしたい うるし
ぬ つち いわ き み め
塗ると、土や岩、木のような見た目になります。

はな しょくぶつ つち いわ は
花や植物が、まるで土や岩のすきまから生えて
いるようです。

かぶしきがいしゃ さとうきよまつしょうてん

株式会社佐藤喜代松商店

わたなべゆう

渡辺祐

まいせる じゃばん

MYCL JAPAN

京都市北区平野宮西町105番地



1-5 あんしんでやさしいくつ下^{した}

うるし^{つか}を使って色^{いろ}をつけたくつ下^{した}です。うるし

の力^{ちから}でバイキンがつきに^{きぬ めん}くいです。絹と綿とい

う糸^{いと}を使って編^{つか}んでいます。糸^あも、色^{いと}をつける^{いろ}

材料^{ざいりょう}も、自然^{しぜん}から作^{つく}られたものを使^{つか}っているの

で、人^{ひと}にも地球^{ちきゅう}にもやさしいくつ下^{した}です。



かわとくしょうじかぶしきがいしゃ

川徳商事株式会社

京都市上京区大宮通今出川上る観世町124



1-6 うるしまほうびんの花びんとタンブラー

「エターナルベイス」は、うるしの抗菌せいと、

おんど たも はな なが か
温度を保つしくみでお花が長もちする花びん

ひやくにんひやくしよく にしじん いろ つか
です。「百人百色」は、西陣の色うるしを使い、

だれでもデザインできるタンブラーです。保

おん ほれい
温・保冷ができてべんりです。

かぶしきがいしゃ さとうきよまつしょうてん
株式会社佐藤喜代松商店

ごうどうがいしゃ こくう
合同会社COCOO

京都市北区平野宮西町105番地



2

しぜん う だ うつく つよ けつ 自然が生み出す、美しさと強さの結しよう

にほん たいせつ しぜん
うるしは日本の大切な自然のめぐみです。うる

ほうほう き あつ
しかきという方法で木から集められ、こわれた

もの つか
物をなおすのにも使われます。さらに、うるし

あたら つか かた ひろ うつく
ぞめなど、新しい使い方も広がり、美しいつや

つよ にんき
と強さが人気です。



ふくちやまし たんぱうるし
福知山市丹波漆プロジェクト
福知山市夜久野町平野2199

3-1

くらしのなかで使われてきた手づくりの黒谷和紙

およそ800年前から京都府綾部市で手づくり

されている日本の紙。材料はコウゾという植物

で、やぶれにくいことから「ちょうちん」や「か

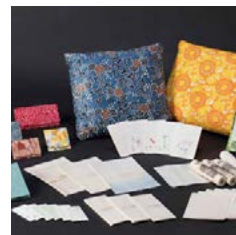
さ」など、くらしのなかで長く使われてきまし

た。現在もさまざまな紙や加工品を手づくりし

ています。

あやべし
綾部市

くろたにわしきょうどうくみあい
黒谷和紙協同組合
綾部市黒谷町東谷3



3-2

かみ ぬの

しょうひん

紙を布にした、あたらしい商品づくり

かみ いと きぬ いと ぬの

紙の糸と絹の糸をおって、布をつくりました。

むかし かみ たいせつ

昔からの紙づくりを大切にしながら、あたらし

しょうひん

ちょうせん

い商品づくりにも挑戦しています。みなさんも

かみ たいけん

いちど

あやべし

紙をつくる体験ができます。ぜひ一度、綾部市

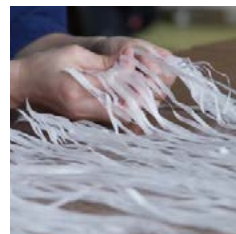
けんがく

に見学にきてください。

あやべしかんこうぎょうかい

綾部市観光協会

綾部市駅前通東石ヶ坪11番地の4



ぜんしん きょうと かん
全身で京都を感じてみよう！

ゆかとかべにつか^{つか}に使われている京瓦^{きょうかわら}は、キモノタイル
と^{きもの}いいます。着物のえりもとに見^みえるようにデザ
イン^{えいぞう}されました。映像^{きょうと}は、京都じゅうの風景^{ふうけい}や人^{ひと}
のくらしをうつしています。音楽^{おんがく}は、京都^{きょうと}のいろ
いろなところの音^{おと}をあつ^{あつ}めてつくったものです。

空間デザイン協力	Space design cooperation
Sandwich	Sandwich
京瓦タイル「キモノタイル」製作協力	Kyoto tile "Kimono tile" production cooperation
株式会社京瓦 浅田製瓦工場	ASADA KAWARA FACTORY
テーマ映像制作	Theme video production
株式会社 青空	AOZORA,LTD
テーマ音楽制作	Theme music production
原 摩利彦	Marihiko Hara

大阪・関西万博きょうと推進委員会